

■杉浦翠子 歌人。ライバル心が強すぎて{アララギ}脱会、{香蘭}でも衝突起こして破門となり、{短歌至上主義}を創刊。

すぎうらすいこ

内閣発足・・1885 = 埼玉県川越で、代々提灯屋ながら第八十五銀行に勤務する岩崎紀一の6人の子の末子に生まれる。母はサダ。本名翠。福沢桃介の妹。

国民之友始・1887 = 2歳：父が死去。この年、兄桃介が福沢諭吉の女婿となる。

初の対等条約1888 = 3歳：母も死去したため、祖母に育てられ、

帝国憲法発布1889 = 4歳：

日清戦争始・1894 = 9歳：

田中正造直訴1901 = 16歳：高等小学校卒業後、祖母も死去したため、

教科書疑獄・1902 = 17歳：次姉てるを頼って上京、てるの嫁ぎ先出淵家に寄寓し、神田の国語伝習所に通う。

日比谷公園・1903 = 18歳：出淵家隣に住んでいた東京美術学校生杉浦朝武(のち図案画家非水、多摩美術学校校長)と知り合い、

日露戦争始・1904 = 19歳：非水と結婚。

日露戦争終・1905 = 20歳：

満鉄発足・・1906 = 21歳：バラチフスに罹り、全快するも身体不調で不安な生活送るうち、短歌に傾倒するようになり、

伊藤博文暗殺1909 = 24歳：{女子文壇}に投稿した自己陶酔的な日記文「初めて丸髻を結うふ」が掲載される。

明治天皇没・1912 = 27歳：

大正政変・・1913 = 28歳：一転して拝金主義を痛烈に批判した「貴婦人に與ふる書」を発表。

21ヶ条要求・1915 = 30歳：北原白秋に入門。

民本主義・・1916 = 31歳：白秋から離れ、アララギに入会。斎藤茂吉・古泉千樫につき、

ロシア革命・1917 = 32歳：処女歌集「寒紅集」を刊行。

原敬首相暗殺1921 = 36歳：第二歌集「藤波」を刊行。原阿佐緒・三ヶ島菫子とともに、アララギの三歌人と呼ばれるほどになるも、ライバル心強すぎて対立、

関東大震災・1923 = 38歳：突如酷評を受け、アララギを脱会。

護憲三派圧勝1924 = 39歳：白秋系の{香蘭}に移り、

円本時代始・1926 = 41歳：歌集「みどりの眉」、

金融恐慌・・1927 = 42歳：小説集「かなしき歌人の群れ」、

共産党事件・1928 = 43歳：短歌集「朝の呼吸」中の歌論「短歌における私の鑑賞態度」で、アララギの写実主義を批判、「激情の歌人」と言われるようになるが、

海軍軍縮条約1930 = 45歳：

満州事変・・1931 = 46歳：

国際連盟脱退1933 = 48歳：{香蘭}でも衝突起こして、破門となり、長編小説「彼女を破門せよ」発表後、{短歌至上主義}を創刊、

日中戦争始・1937 = 52歳：歌集「浅間の表情」に「主知的短歌論」を掲げ、世に問う。

第二次大戦始1939 = 54歳：

日米開戦・・1941 = 56歳：

敗戦・・・1945 = 60歳：戦後、ガリ版で主宰短歌誌{不死鳥}を発刊。

新憲法公布・1946 = 61歳：ガリ版刷歌集「日の黒点」。

新憲法施行・1947 = 62歳：*自らの考えをさらに深化させた「短歌知性論」を発表後、{短歌至上}と改題して復刊。

極東裁判決・1948 = 63歳：

独立回復・・1951 = 66歳：

メーデー事件・1952 = 67歳：歌集「生命の波動」、

自衛隊発足・1954 = 69歳：小説集「純愛三十年・斎藤茂吉の手紙」。

なべ底不況・1957 = 72歳：

安保闘争・・1960 = 75歳：非水に見守られて、没した。

「杉浦翠子全歌集」(昭和57年)がある。

「日本の女性」、インターネット、